

彩四季

「生かされている感謝の心」



会津若松市長（本会監事） かん け いち ろう 菅家 一郎

本市は、平成21年度に市政110周年を迎えました。

古くから城下町として栄え、溪流や山岳などの豊かな自然に囲まれた歴史と伝統に彩られたまちです。

私は、この「ふるさと会津」を愛する熱い思いを胸に、新たな時代に向けて誇りと輝きに満ちた、夢と活力のある元気な「会津若松」をつくるため、日々全力で市政運営に取り組んでおります。

そのような毎日の中で思うことは、多くの人々や事柄との関わりによって生かされているということのありがたみであります。

「一日一生」という言葉があります。まず朝に目が覚め1日が始まり、夜、仕事を終え、布団に入り1日が終わります。当たり前ようですが、事故なく、怪我なく、無事に1日を過ごせる事はなんと有り難い事か、と最近感じています。

毎日の公務やプライベートの時間の中で、実に多くの人との出会いがあります。そんな一期一会を大切にしたいとの思いから、2007年11月から今日まで、毎日ブログでその日の出来事や出会った方々を紹介しています。今年2月には、2008年10月までの掲載内容を、「ザ・市長、日々新一期一会の記録vol. 1」として1冊にまとめ自費出版致しました。多くの方々との出会いによって励まされ、また、お力添えを頂い

たことで、今の私があるのだと思います。ブログを行うことで、一日一日を振り返る機会を得て、改めてそのことを実感しました。ブログは、これからも更新して参ります。そして、今後も多くの方々との出会いを大切に、感謝の気持ちを忘れずに、日々新たな気持ちでまちづくりに取り組んでまいります。

さて、食事をする時に「いただきます」と言います。「『命』を頂戴する」。の意味があるそうです。私たち人は、肉であれ野菜であれ、ほかの生き物の命を食して生きています。ですから、地球上の命によって私自身も生かされているのだと思っています。最近私は一つ一つの食材を丁寧に噛み締め、食材そのものの味をしっかりと味わうつもりで頂いております。健康であるためには食生活が大切です。感謝の気持ちを持って「食事（命）」を頂く事が、健全に生活する事につながるのだと思います。まさに、生かされている事への感謝の気持ちが大切だと感じております。

市民の皆様が、生かされていることへの感謝の気持ちを持続けることができるように、これからもノーマライゼーションの理念のもと、すべての市民が住み慣れた地域で明るく健康的な生活を送れるよう福祉の充実と健康づくりを進めて参ります。